

「新 子どもかがやきプラン アクションプラン2018」の策定について

1. 「新子どもかがやきプラン」について

- ・平成29年3月策定
- ・基本理念 「地域と共に創る 新たな学びのスタイル」
- ・一人一人の教育的ニーズに応じて、地域の多様な学びの場を柔軟に活用できる新たな「学びのスタイル」づくりに取り組む。
- ・そのための基盤となる、新たな「学びの場」を整備することとし、3つの重点政策を推進する。
 - 【重点政策①】 県内各地域への高等特別支援学校機能の整備
 - 【重点政策②】 発達障がい等のある児童生徒への支援強化
 - 【重点政策③】 学びの場を支える教員の専門性向上
- ・各施策の具体的な進捗状況を踏まえながら、次年度に進める施策を盛り込んだアクションプランを毎年策定する。

2. アクションプラン2018の概要

重点施策1 県内各地域に高等特別支援学校機能を整備します

⇒可茂地域の高等特別支援学校の整備

重点施策2 障がいのある児童生徒のニーズに応じた学びの場を整備します

⇒高校少人数コミュニケーション講座の本格実施及び次期実施校における準備

⇒長期入院児童生徒等の学習支援体制の整備

⇒特別支援学校の学習環境整備

- ・郡上特別支援学校の1校舎体制
- ・近接する関特別支援学校と中濃特別支援学校の今後の在り方
- ・寄宿舍の今後の在り方

重点施策3 学びの場を支える教員の専門性を向上します

⇒コア・スクールの校外支援の充実

新 子どもかがやきプラン アクションプラン2018

地域と共に創る 新たな学びのスタイル

- ◆平成29年3月に策定した「新 子どもかがやきプラン」に基づき、平成30年度に取り組む施策を示しました。
- ◆インクルーシブ教育システムの構築に向けて、一人一人の教育的ニーズに応じて、地域の多様な学びの場を柔軟に活用できる新たな「学びのスタイル」づくりに取り組みます。
- ◆そのための基盤となる、新たな「学びの場」の整備に取り組みます。



重点施策1 県内各地域に高等特別支援学校機能を整備します

施策内容

○平成30年4月に西濃高等特別支援学校を開校します。

○可茂地域の高等特別支援学校の早期開校を目指し、整備地を検討します。

整備スケジュール

地域	学校名・整備方法	定員 (1学年)	整備スケジュール					
			H29	H30	H31	H32	H33	H34
岐 阜	岐阜清流高等特別支援学校	48人 6学級	開校					
西 濃	西濃高等特別支援学校	24人 3学級		開校				
可 茂	県立学校の余裕教室を活用して整備	16人 2学級 (想定)		整備地検討				最速でH33開校を目指す

○特別支援学校高等部において、生徒の実態に即した新たな作業コースの開発に着手します。

重点施策2 障がいのある児童生徒のニーズに対応した学びの場を整備します



施策内容

○高等学校において、「少人数コミュニケーション講座」を充実します。

- ・不破高等学校（自校型）、華陽フロンティア高等学校通信制（他校型）の2校において、少人数コミュニケーション講座を本格的に開始します。
- ・東濃高等学校（自校型）において、平成31年度の実施に向けて、教育課程への位置付けや指導内容の開発等の準備に取り組みます。他地域についても、設置に向けた検討を進めます。

○小学校→中学校→高等学校の一貫した支援体制のモデルを構築します。

- ・指定した研究地区において、生徒の状況や支援内容を確実に引き継ぐためのシステムづくりに取り組み、成果を県内に広げます。
- ・高等特別支援学校2校において、中学校の生徒や保護者を対象とした進路説明会を開催し、高等特別支援学校や高等学校等の特色について情報を提供します。

○多様なニーズに応じた学びの場を研究します。

- ・病気やけが等により長期に入院している児童生徒の学習支援体制の整備に向けて、子どもや保護者のニーズを踏まえつつ、復学支援の在り方や遠隔授業等の研究に取り組みます。

○特別支援学校の学習環境を整備します。

- ・岐阜清流高等特別支援学校でコミュニティ・スクールの取組を開始します。また、その他の特別支援学校への導入についても検討を行います。
- ・郡上特別支援学校の2校舎体制による通学等の不便さを解消するため、スクールバスを増車します。また1校舎体制についても検討を進めます。
- ・近接する中濃特別支援学校と関特別支援学校の今後の在り方についての方向性を示します。
- ・寄宿舎の今後の在り方についての方向性を示します。

重点施策3 学びの場を支える教員の専門性を向上します



施策内容

○コア・スクールにおける専門領域に基づいて、コア・ティーチャーによる特別支援学校等に対する支援方法に関する指導助言や研修講師等の取組を推進します。

※コア・スクール：岐阜盲学校（視覚障がい）、岐阜聾学校（聴覚障がい）、長良特別支援学校（病弱）、岐阜希望が丘特別支援学校（肢体不自由）、岐阜清流高等特別支援学校（軽度知的障がい）の5校

○「少人数コミュニケーション講座」の担当教員が発達障がい支援に関する実践力を高め、コア・ティーチャーとして地域の学校へ支援を行います。